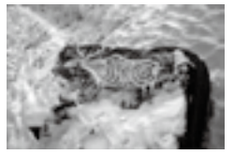
企画展
「岩に刻まれた古代美術――アムール河の少数民族の聖地シカチ・アリャン」


雪の中から浮かび上がるヘラジカ

会期　7月21日(火)まで

極東ロシアのシカチ・アリャン村には、考古学では世界的に有名な岩面画が残されており、先住民族が聖なる遺跡として守ってきました。本展では世界で初めて現在見られるすべての岩面画を拓本と写真を用いて一斉に紹介します。

躍動する南アジア――春から秋のみんぱくフォーラム2015

新しくなった展示にあわせて、南アジアの躍動感あふれる姿を、さまざまな関連イベントを通じて紹介します。

■関連イベント

◆ワークショップ
「はじめの一歩　やってみようミラー刺繍」
日時　6月～8月の毎週木曜・土曜日
　13時30分～16時30分（16時まで受付）
場所　本館エントランスホール
プログラム
①ミラー刺繍のしくみ（参加無料）
②スパンコールをつけてみよう（参加費50円）
※申込不要、対象は小学生から大人（小学3年生以下は保護者同伴のこと）、刺繍初心者向け
サポートスタッフ　チーム・ブラカーシュ（MMP）

音楽の祭日2015 in みんぱく
1982年にフランスで、夏至の日にみんなで音楽を楽しむ「音楽の祭典」がはじまりました。みんぱくでも、世界のさまざまな楽器を使って「音楽の祭日」を祝います。
日時　6月21日(日) 10時25分～16時35分
　(開場10時)
会場　特別展示館
　本館エントランスホール
※申込不要、参加無料（当日は無料観覧日です）

公開フォーラム
「タイムマシンとしてのアステカのモニュメント――考古学的石碑の新しい解釈」
メキシコの先スペイン時代に栄えたアステカ王国の石碑についてメキシコ人歴史家フェデリコ・ナバレテ博士が講演します。
日時　6月2日(火) 15時～18時
場所　本館第6セミナー室
使用言語　スペイン語
※要事前申込、参加無料、先着20名
お問い合わせ先
鈴木紀研究室
motoi@idc.minpaku.ac.jp

公開講演会
「古代アメリカの比較文明論――メソアメリカとアンデス」
マヤとナスカを発掘調査する考古学者、環境史研究者、ラテンアメリカをフィールドとする文化人類学者が、最新の研究成果を報告します。
日時　6月6日(土) 14時～17時
　(開場13時30分)
会場　本館第4セミナー室
※申込不要、参加無料、先着50名
お問い合わせ先
鈴木紀研究室
motoi@idc.minpaku.ac.jp

みんぱくミュージアムパートナーズ
「点字体験ワークショップ」
目で読む文字から手で読む文字へ。点字で異文化コミュニケーションを体験してみませんか。
日時　6月13日(土) 12時～15時30分
会場　本館エントランスホール
※申込不要、参加無料

連続講座
「みんぱく×ナレッジキャピタル――世界の『民芸』――」
好評につき大阪・梅田のナレッジキャピタルで連続講座の第2弾を開催！
時間　19時～20時30分
会場　グランフロント大阪北館1階
　ナレッジキャピタル
　The Lab. CAFE Lab.
※要事前申込、参加費500円（1ドリンク付き）、定員各回50名
主催　国立民族学博物館
　一般社団法人ナレッジキャピタル

6月3日(水)
講師　上羽陽子（本館 准教授）
インドの縫い目から――つくり手たちの知恵と工夫

6月10日(水)
講師　樫永真佐夫（本館 准教授）
ベトナム、黒タイの「竹の文化」

6月26日(金)
講師　飯田卓（本館 准教授）
手仕事のマダガスカル――アマチュア・ナチュラリストの達成

国立民族学博物館 展示ツアー
「南アジアの染織文化」
6月14日(日) 13時30分～15時
会場　本館展示場（定員30名）
案内　上羽陽子（本館 准教授）
お申込み・お問い合わせ先
一般財団法人ナレッジキャピタル
06・6372・6530

カレッジシアター
「地球探究紀行」
みんぱくの研究者が驚きと感動をお届けします。世界の文化の〝奥深く〟へご一緒にどうぞ。
時間　13時～14時30分
会場　あべのハルカス近鉄本店「スペース9」
※要事前申込（参加状況により当日受付あり）、参加費各回1000円
共催　産経新聞社、近鉄文化サロン、
　スペース9
特別協力　国立民族学博物館、千里文化財団

6月10日(水)
商人と布の移動からみる西アフリカ経済の変遷
講師　三島禎子（本館 准教授）

6月24日(水)
漆をつかう――漆工技術の継承
講師　日髙真吾（本館 准教授）
お申込み・お問い合わせ先
ウェーブ産経カレッジシアター係
06・6633・9087

●無料観覧日のお知らせ
6月21日(日)音楽の祭日の開催日は、本館展示を無料で観覧いただけます。ただし自然文化園を通行される場合は、入園料が必要です。

巡回展「イメージの力――国立民族学博物館コレクションにさぐる」
会期　6月27日(土)～8月23日(日)
休館日　毎週月曜日（ただし、月曜日が祝日の場合はその翌日）
会場　郡山市立美術館（福島県）
主催　郡山市立美術館
　国立民族学博物館
　千里文化財団

みんぱくゼミナール
時間　13時30分～15時（13時開場）
会場　本館講堂
定員　450名（当日先着順）
参加費　無料（展示をご覧になる方は観覧料が必要です）

第445回　6月20日(土)
インド刺繍布がうみだす世界
講師　上羽陽子（本館 准教授）

サリー用布地に装飾をほどこす刺繍職人（2013年撮影）

南アジアの染織品やファッションは、現代のグローバル化にともなって、新しい「南アジア」イメージの発信・流通を媒介する重要なメディアとなっています。インド刺繍布をうみだす風土やくらし、担い手に焦点をあてながら、私たちの身近でみることのできる「エスニック雑貨」や「民族衣装」の存在についても考えます。

みんぱくウィークエンド・サロン
研究者と話そう
時間　14時30分～15時30分
※申込不要、参加無料（要展示観覧券）
本館の研究者が来館された皆様の前に登場します！
「研究について」「調査している地域（国）の最新情報」「展示資料について」など、話題や内容は実に多彩。

6月7日(日)　本館東南アジア横休憩所
中国チワン族の棚田観光の現状
話者　塚田誠之（本館 教授）

6月14日(日)　本館ナビひろば
次週開催！「音楽の祭日」を10倍楽しむ法
話者　出口正之（本館 教授）

6月28日(日)　本館中国展示場
伝承される伝統中国の人生儀礼
話者　韓敏（本館 教授）

●ネパール大地震の情報ポータルサイト
人間文化研究機構の現代インド地域研究国立民族学博物館拠点では、4月25日に発生したネパール大地震関連の情報を集積したポータルサイトを立ち上げました。今後さまざまな研究者の支援を得て、充実させていきます。
URL　http://www.minpaku.ac.jp/nihu/mindas/nepal_earthquake2015_j.html
また、5月1日からネパール大地震災害被災地への救援金を募るため、館内に募金箱を設置しています。ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。
※各イベントについてくわしくはみんぱくホームページをご覧ください。
※電話でのお問い合わせの受付時間は、9時～17時（土日祝を除く）です。

刊行物紹介

■南真木人・石井溥 編著
『現代ネパールの政治と社会――民主化とマオイストの影響の拡大』
明石書店　5,200円（税抜）

今なぜマオイストなのか、マオイストとは何者で、何をしようとしたのか、またしているのか。本書はマオイストの運動（武装闘争期）と政治（政党復帰後）を前景ないし後景に据えて、現代ネパールがかかえる諸問題に迫る。

■韓敏 編著
『中国社会における文化変容の諸相――グローカル化の視点から』
風響社　5,000円（税抜）

現代中国を作り上げている巨大な原動力、グローバル化。人々はそれを受け入れつつ、集団、地域、エスニシティ、ナショナリティ、ルーツや伝統を意識し、ローカルの現場を再構築している。

友の会
国立民族学博物館友の会　電話 06-6877-8893（9時～17時、土日祝を除く）　FAX 06-6878-3716
http://www.senri-f.or.jp/　E-mail minpakutomo@senri-f.or.jp

友の会講演会（大阪）
時間　14時～16時
会場　本館第5セミナー室
※当日先着順、会員無料（会員証提示）、一般500円

第443回　6月6日(土)
聖なる遺跡は物語る――アムール河の少数民族ナナイの神話をさぐる
講師　佐々木史郎（本館 教授）
●講義と併せ、企画展「岩に刻まれた古代美術」の見学会を開催します。

東京講演会
会場　モンベル渋谷店5Fサロン
定員　60名（要事前申込、先着順、会員無料・一般500円）

第112回　6月14日(日) 14時～16時（講義と併せ、懇談会を開催します）
インナータライにネパール近代化の縮図をみる――チトワン国立公園の開発を例に
講師　南真木人（本館 准教授）
標高5000メートルを超える山々に抱かれる国ネパール。一方で南部には標高100メートル以下のタライ平原、そしてインナータライとよばれる盆地があります。かつてマラリアが猛威を振るったこれら低地帯では、一部の民族集団しか生活することができませんでした。しかし1951年にラナ専制政治が幕を閉じると、開発と人口移入が一挙に進み、その様相を大きく変えます。本講演会では、中央インナータライに位置するチトワン国立公園などを例に、タライ入植の歴史と自然保護区制定にともなう住民運動を紹介し、多民族国家ネパールの近代化や現代的な課題の一端をさぐります。

体験セミナー（講義と食事・普茶料理）
第70回　6月25日(木) 10時半～15時
日本の食文化――昆布に親しむ
講師　飯田卓（本館 准教授）
　土居純一（「こんぶ土居」4代目）
会場　阪口楼（大阪市天王寺区）
定員40名（要事前申込、先着順）
参加費　会員9800円、（一般10800円）